



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2018年(平成30年)8月25日号 No.1768

目次

■ 2018年上半期のロシア経済と鉱工業生産	1
■ 統計速報	6
2018年1～7月のロシアのブランド別乗用車販売台数／6	
■ キーパーソン	7
ベラルーシで閣僚会議上層部交代／7	
■ 『ロシアNIS調査月報』2018年9-10月号のご紹介	9
■ エトセトラ	10
東方経済フォーラム「日ロビジネスラウンドテーブル」のご案内／10	
■ トピックス	10
モンゴル貿易開発銀行と提携LM&A支援／10	
カスピ海の領有権、沿岸5カ国が協定に署名／10	
フジクラのワイヤーハーネス工場が閉鎖へ／10	
シベリア鉄道貨物輸送パイロット事業が開始／11	
札幌にサンクトペテルブルグ市事務所を開設／11	

2018年上半期のロシア経済と鉱工業生産

はじめに

ロシア連邦国家統計局より2018年上半期のロシアの主要経済指標が発表されたので、本速報ではそれらを図表にまとめてお届けする。鉱工業生産については特に詳しく紹介していく。なお、2018年上半期のロシアの貿易統計に関しては、ロシア連邦関税局のデータに基づき、後日より詳しくお伝えする予定である。

統計局発表の速報推計値によると(図表1)、2018年上半期のGDP成長率は前年同期比で1.6%増となった。第1四半期のプラス1.3%の成長に続き、第2四半期もプラス1.8%の成長を記録した。ロシア中銀によれば、6月に開幕したワールドカップが第2四半期のGDP成長率を0.1～0.2%押し上げた。

鉱工業部門の生産指数では(図表3)、鉱業は前年同期比で1.9%、製造業は4.0%増加し、鉱工業全体で3.0%の増加となった。品目別の内訳をみると(図表4)、天然ガスや石炭、化学分野、工作機械、乗用車などで成長がみられ、全体的に多くの製品で生産が増加した。

2018年上半期の鉱工業生産を連邦管区別・地域別に見てみると(図表5)、地域別データではロストフ州(南連邦管区)とモスクワ市が大きな伸びを示している。

経済発展省は2018年のGDP成長率を1.9%増、ロシア中銀は1.5～2%増と予測し、2018年は堅調な成長が期待されるが、2019年は付加価値税の税率引き上げ等の影響が懸念される。